

## 行方市電子図書館構築事業 仕様書

### 1. 目的

スマートフォンやタブレット、パソコンなど多様なものから電子書籍や電子雑誌を自由に閲覧、利用できる電子図書館を整備する。これにより身体的・環境的・地理的等の障壁によって図書館の利用が難しかった市民も、インターネットを通して等しく情報へアクセスできる環境を構築する。

#### ① 非来館者サービスの拡充

利用者が、図書館に来館することなく資料を借りるサービスを提供する。利用者が日常的に使用しているインターネットに接続できるデバイス（パソコン、タブレット、スマートフォンなど）に、既に配布済の利用者ごとのログイン ID・パスワードを入力することにより、休館日や開館時間を気にすることなく何処にいても資料の予約や貸出ができる環境を構築する。

#### ② 視聴覚障がい者サービスの拡充

視聴覚障がい者等が使用している音声読み上げソフトに対応していること。来館せず図書館資料を利用できることに加えて、来館することを負担に感じる利用者も、紙媒体では読むことが難しい利用者も同じように利用しやすくすること。

### 2. 作業概要

現行の図書館管理システム（LiCS-Re3）に対して、クラウド型電子図書館サービス（以下、電子図書館サービス）と連携できる機能を追加・拡充し、市で購入した電子書籍コンテンツに対応する TRC MARC からローカルデータを所蔵情報として展開し、所蔵資料として検索を可能にする。カウンター業務端末、館内 OPAC、WEB-OPAC（インターネット蔵書検索画面）で紙媒体資料と電子書籍が同時に検索可能にする。

WEB-OPAC（以下、館内 OPAC を含む）ではタイトル一覧で電子書籍の判別ができるよう、資料区分の表示機能を提供する。

電子図書館の貸出・返却等の処理は電子図書館サービス画面で管理・実行する。

### 3. 機能内容

#### ① 電子書籍コンテンツに対応する TRC MARC 対応

WEB-OPAC で紙媒体資料と電子書籍が同時に検索できること

#### ② シングルサインオン機能

WEB-OPAC と電子図書館サービスが同じ ID、パスワードで利用できること

#### ③ 貸出ログ連携

電子図書館サービスの貸出状況を図書館管理システムで統計化し、分析することが可能なこと

④ 予約ログ連携

電子図書館サービスの予約状況を図書館管理システムで統計化し、分析することが可能なこと

⑤ 貸出・予約情報連携

WEB-OPAC から電子図書館サービスの貸出・予約状態の参照が可能なこと

⑥ 書誌公開情報連携

電子図書館サービスの公開・非公開情報を元に、WEB-OPAC 上の資料詳細画面にて電子図書館サービスへの画面遷移を制御（許可する／許可しない）することが可能なこと

⑦ ライセンス情報連携

図書館管理システムに登録されて電子図書館サービスのタイトル情報に、電子書籍固有の情報（更改状況、貸出可能数、有効期間）を表示できること

4. 役割分担

項目	内容	役割分担	
		発注者	受注者
打ち合わせ	本館に1回	参加	説明
システム設計更新		—	設計
資料作成		—	作成
設定作業		—	作業実施
操作説明	本館に1回	参加	説明
稼働後	稼働後の質問対応	確認	受注者対応

5. 電子図書館システム諸元

① 「青空文庫」を8,000タイトル程度提供すること

なお、本電子図書館サービスを使用する期間は継続して提供すること

② データ容量 20GB

参考資料数 A4標準画質で2万ページ、高画質で8千ページ、最高画質で6.6千ページ

6. その他

① 広報用資料の作成

契約締結後、電子図書館の利用促進を目的とした広報用チラシ（A4サイズ、2000枚）を発注者と打合せの上で作成すること。また電子データも併せて納品すること

② 費用範囲外

電子図書館サービスで提供する電子書籍コンテンツのライセンス使用に関する費用は本構築に含まない。ただし、【和書】取り扱い出版社400社以上、タイトル数19万タイトル以上（青空文庫除く）、和雑誌300誌（6,000冊）以上を提供できること